

事業計画

※（ ）内の金額は前年度予算額

- 【公益1】県民スポーツ・文化推進事業** 1,191,972千円（1,159,965千円）
- 1 競技力向上** 271,161千円（265,874千円）
- (1) 目指せトップアスリート！わかとりっこ育成事業** 1,526千円（1,592千円）
小学生にスポーツに触れる機会を提供することにより、スポーツに興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へつなげ、未来のトップアスリートを目指すきっかけとするため、「わかとりっこ体験会」を実施する。（11競技）
- (2) カテゴリー別合同練習会** 9,029千円（9,029千円）
小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、校種をまたいで合同練習会を実施することにより、進学後における一貫した指導体制を維持し、組織的な強化を図る。（37競技）
- (3) ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業** 4,800千円（4,800千円）
特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成、活性化、大会参加等に対して支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。（20競技24クラブ）
- (4) 運動部活動活性化事業** 28,651千円（28,515千円）
- ①中学生選抜選手育成・強化支援** 7,164千円（7,471千円）
競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。（21競技）
- ②高等学校運動部指定合宿等支援** 6,875千円（6,875千円）
高校の運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を図るため、各競技の運動部を指定し、強化合宿等に要する経費に対して支援を行う。
- ・配分方法；A、Bに区分して配分
 - ・配分先；23校32競技64部
- ③高等学校運動部指定特別指導者確保支援** 7,936千円（6,610千円）
指定した運動部への指導者配置に要する経費に対して支援を行うことにより、競技力の向上を図る。
- ・鳥取城北高校（相撲）
 - ・鳥取敬愛高校（バドミントン）
- ④高等学校運動部指定外部指導者支援** 6,676千円（7,559千円）
指定した運動部への外部指導者配置に要する経費に対して支援を行うことにより、競技力の向上を図る。（10校21名）
- (5) 県外優秀アスリート受入支援事業** 3,900千円（4,500千円）

県立高校へ入学する県外優秀アスリートの受入体制に対して支援を行う。

- ・八頭高校ホッケー部（9名）
- ・岩美高校バレーボール部（4名）

- (6) 特別ジュニア選手指定強化事業 39,976 千円 (39,142 千円)
競技団体が指定する国スポ等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することにより、国スポをはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。
(27競技30種目)
- (7) 鳥取ジュニアアスリート育成強化事業 10,481 千円 (10,114 千円)
県が認定したジュニアアスリートに対する強化育成事業を実施する。(14競技185名)
- (8) 大学部指定強化事業 500 千円 (550 千円)
大学の運動部を指定し、強化事業を実施する。
・指定方法；A～Dの4区分に分けて配分
・配分先；2大学6部
- (9) 社会人等選手指定強化事業 28,455 千円 (26,949 千円)
競技団体が指定する国スポ等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国スポをはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(27競技29種目)
- (10) 成年団体競技強化チーム事業 1,519 千円 (1,519 千円)
県内の高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に要する経費に対して補助を行う。
・チアフル鳥取（バドミントン）
・米子クラブ（アイスホッケー）
- (11) 優秀選手確保事業 1,500 千円 (1,500 千円)
成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に対して補助を行う。
(1人当たり1,000千円)
- (12) 特別指定競技強化事業 12,499 千円 (13,033 千円)
令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ、県内外の強化合宿等に要する経費に対して補助を行い、集中的な強化事業を展開することにより、国スポでの成績向上を図る。(9競技10種目)
- (13) 指導者の育成確保事業 20,421 千円 (20,053 千円)
①ジュニア指導者講習会 3,367 千円 (3,511 千円)
ジュニアの指導にあたる指導者を対象にした講習会を開催することにより、指導者自身の資質

向上を図るとともに、県内指導者間の指導方法の共有化を促進する。（37競技）

②指導者の育成事業 3,664千円（3,664千円）

県内指導者を国内トップレベルの指導者のもとへ派遣、又は県外から優秀指導者を招へいして講習会等を行うことにより、県内指導者の資質向上や指導体制の充実を図る。

（27競技29種目）

③競技力向上のための指導者確保事業 13,237千円（12,725千円）

競技力向上のために優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

・体育指導員2名配置（ホッケー、セーリング）

④公認指導者資格取得・更新補助事業 153千円（153千円）

国スポの監督資格要件とされる日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費に対して、その1/2を補助する。

(14) 環境整備事業 61,918千円（56,460千円）

①強化練習用消耗品等対策事業 19,263千円（19,650千円）

国スポに参加する上で必要となる消耗品、使用料、作曲料、運搬料等に対して、その特殊性を考慮し補助を行う。（12競技13種目）

②国スポ等強化備品整備 40,749千円（34,908千円）

国スポ参加や強化に必要な強化備品の整備を行う。（10競技）

③安全管理対策事業 1,906千円（1,902千円）

国スポ候補選手のスポーツ安全保険料に対して補助を行うことにより、強化事業に安心して専念できる体制を整える。（41競技）

(15) JOC競技別強化拠点整備等事業 13,552千円（12,926千円）

JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナ及び倉吉体育文化会館にコーチングスタッフを配置し、競技力向上のための機能や利便性の向上を図る。

・体育指導員2名配置（セーリング、スポーツクライミング）

(16) スポーツ医・科学推進事業 5,398千円（5,795千円）

①医・科学サポート事業 5,366千円（5,595千円）

医事、栄養及びドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会や栄養知識及び普及に関する講習会を開催するほか、筋力トレーニング等の充実、県外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

②アンチ・ドーピング教育・啓発事業（日本スポーツ協会委託事業） 32千円（200千円）

・指導者、選手を対象とした講習会の開催
・アンチ・ドーピングに関する啓発

(17) 競技力向上推進費 27,036千円（26,141千円）

①強化推進事業 1,080千円（1,080千円）

競技団体と連携を図るための、連絡、調整、指導、視察、会議等に要する経費

②競技力向上担当人件費 25,956 千円 (25,061 千円)
競技力向上担当職員 4 名分

(終了) 幼児の運動能力向上事業 0 円 (3,256 千円)

2 国民スポーツ大会事業 121,239 千円 (148,689 千円)

(1) 国スポ県予選会の開催 2,694 千円 (4,645 千円)
競技団体へ委託して、国スポ選手選考のための県予選会を開催する。
(40 競技)

(2) 中国ブロック大会等への選手団派遣 37,982 千円 (55,179 千円)

①国スポ中国ブロック大会

- ・期 日 ; 令和 6 年 5 月 ~ 12 月
- ・開催地 ; 島根県内の各会場等
- ・競技数 ; 水泳 (水球) 他 30 競技

②フィギュアスケート全国予選会

- ・期 日 ; 令和 6 年 1 2 月
- ・開催地 ; 関東

(3) 第 78 回国スポ及び第 79 回国スポ冬季大会への選手団派遣 79,276 千円 (78,638 千円)

①第 78 回国スポ (会期前・本大会)

- ・期 日 ; (会期前) 令和 6 年 9 月 5 日 ~ 17 日、9 月 21 日 ~ 10 月 1 日
(本大会) 令和 6 年 10 月 5 日 ~ 15 日
- ・開催地 ; 佐賀県
- ・競技数 ; 陸上競技他 36 競技

②第 79 回国スポ冬季大会

《スキー競技》

- ・期 日 ; 令和 7 年 2 月 13 日 ~ 16 日
- ・開催地 ; 秋田県鹿角市

《スケート・アイスホッケー競技》

- ・期 日 ; 令和 7 年 1 月 26 日 ~ 2 月 5 日
- ・開催地 ; 岡山県岡山市・倉敷市 (フィギュア、ショートトラック、アイスホッケー)
群馬県渋川市 (スピード)

(4) 国スポ等派遣選手指導費 1,287 千円 (1,287 千円)

県内外の各種大会や強化事業に出向くとともに、競技団体と情報交換を行い、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

(終了) 新型コロナウイルス感染症対策事業

0 円 (8,940 千円)

3 生涯スポーツ推進

32,326 千円 (29,634 千円)

(1) 広域スポーツセンター事業

14,109 千円 (13,371 千円)

①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業

320 千円 (320 千円)

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブの設立及び運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。

- ・研修会 1 回、派遣 2 回

②クラブアドバイザー配置事業

5,855 千円 (5,435 千円)

総合型地域スポーツクラブの設立及び運営支援等を行うため、クラブアドバイザー (1 名) を配置する。

③クラブアシスタントマネジャー研修事業

170 千円 (153 千円)

総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。(年 1 回)

④広域スポーツセンター人件費

7,636 千円 (7,378 千円)

広域スポーツセンター担当職員 1 名分

⑤総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

128 千円 (85 千円)

総合型地域スポーツクラブが公益性の高い持続可能な「社会的な仕組み」として地域社会に定着することを目的として、県内の総合型地域スポーツクラブの相互交流と活動支援等を行う。

(2) 第 25 回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業

7,482 千円 (7,879 千円)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することにより、県民一人一人の参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

《夏季大会》

- ・種目数 ; 3 種目
- ・期 日 ; 令和 6 年 8 月頃
- ・会 場 ; 東部地区を中心に全県で開催

《秋季大会》

- ・種目数 ; 29 種目
- ・期 日 ; 令和 6 年 10 月頃
- ・会 場 ; 東部地区を中心に全県で開催

《冬季大会》

- ・種目数 ; 5 種目
- ・期 日 ; 令和 7 年 2 月頃
- ・会 場 ; 東部地区を中心に全県で開催

- (3) 大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 7,335 千円 (3,500 千円)
- 当協会と江原道体育会との協定(平成13年11月6日締結)に基づいて、両県道のスポーツ交流を行う。令和6年度は江原道が鳥取県を訪問。
- ・交流競技; テニス競技(成年男女)、レスリング競技(少年男女)
 - ・期 日; 令和6年12月(予定)
 - ・参加者; 2競技の監督、選手、当協会役職員等
- (4) 県民まるごとスポーツ推進事業 3,400 千円 (3,730 千円)
- ①親子 de スポーツ推進事業(総合型) 1,116 千円 (1,116 千円)
- 子育て世代を中心に親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識の高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが開催する親子向け運動教室に対して支援する。(9クラブ)
- ②親子 de スポーツ推進事業(競技団体) 1,102 千円 (1,102 千円)
- 子育て世代を中心に親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識の高揚とスポーツ振興を図ることを目的とし、競技団体が開催する親子向け運動教室に対して支援する。(3競技)
- ③みんな de ユニスポ推進事業 1,182 千円 (1,182 千円)
- 年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会を提供することを目的とし、総合型地域スポーツクラブが開催する幅広い層を対象としたスポーツ教室に対して支援する。(5クラブ)
- ④(終了) スポトピアとっとりフェスタ開催事業 0 円 (330 千円)
- (5) (終了) 鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守事業 0 円 (824 千円)
- 4 スポーツ少年団育成事業(日本スポーツ協会助成事業等) 23,970 千円 (6,908 千円)
- (1) 県競技別交流大会開催事業 570 千円 (490 千円)
- 各地区を代表するスポーツ少年団が参加する県交流大会を開催する。
- ①軟式野球交流大会
- ・期 日; 令和6年6月29日(30日予備日)
 - ・会 場; どらドラパーク米子市民球場
- ②ミニバスケットボール交流大会
- ・期 日; 令和6年9月29日
 - ・会 場; 鳥取県立米子産業体育館
- ③剣道交流大会
- ・期 日; 令和6年10月13日
 - ・会 場; 北栄町北条 B&G 海洋センター
- ④バレーボール交流大会
- ・期 日; 令和6年10月27日

・会 場；鳥取市民体育館エネトピアアリーナ

(2) 中国ブロックスポーツ少年交流事業 780 千円 (670 千円)

本県で、中国ブロックスポーツ少年大会・リーダー研究大会を開催する。

- ・期 日；令和6年8月16日～18日
- ・会 場；鳥取県大山青年の家

(3) 中国大会派遣事業 244 千円 (290 千円)

中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

- ①男子バレーボール (島根県)
- ②バドミントン (山口県)
- ③テニスボール (岡山県)
- ④ソフトボール (広島県)

(4) 全国大会派遣事業 273 千円 (315 千円)

全国スポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

- ①剣道 (大分県)
- ②バレーボール女子 (愛媛県)
- ③スポーツ少年大会 (秋田県)

(5) 中央講習会派遣事業 29 千円 (10 千円)

スタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会の講師を養成するため、スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター養成講習会へ派遣する。

(6) スタートコーチ (スポーツ少年団) 養成講習会開催事業 155 千円 (250 千円)

単位団運営に必要とされる指導者資格である「スタートコーチ (スポーツ少年団)」資格を取得するための講習会を開催する。

- ・期 日；令和6年11月17日
- ・会 場；鳥取県立倉吉体育文化会館

※単位団が日本スポーツ少年団に登録する場合、少なくとも2名以上の指導者がスポーツ少年団の理念を学んでいる必要があるとされている。

(7) ジュニア・リーダースクール開催事業 140 千円 (130 千円)

将来のスポーツ少年団指導者の育成を図るため、ジュニア・リーダースクールを開催する。

- ・期 日；令和6年9月7日～8日
- ・会 場；鳥取県立船上山少年自然の家

(8) 地区別交流大会開催費 601 千円 (451 千円)

東・中・西部地区で開催される交流大会費用を助成する。

- (9) 地区別指導者研修費 151 千円 (151 千円)
 東・中・西部地区で開催される指導者研修費用を助成する。
- (10) (臨) 日本スポーツ少年団中国・四国ブロック会議開催事業 847 千円 (0 円)
 中国・四国ブロック内の相互の連帯と次年度以降の各種取組等に対処するため会議を開催する。
 ・期 日；令和7年2月頃
 ・会 場；米子市内
- (11) スポーツ少年団本部運営費 1,947 千円 (2,116 千円)
- (12) (臨) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会事業 18,233 千円 (791 千円)
 本県にて第46回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会を開催する。
 ・期 日；令和6年8月1日(木)～4日(日)
 ・場 所；どらドラパーク米子市民球場他3会場
- (終了) (臨) 日独スポーツ少年団交流事業 0 円 (600 千円)
- (終了) (臨) 中国ブロック指導者研究協議会開催事業 0 円 (644 千円)
- 5 スポーツ協会表彰事業 ㊦ 1,100 千円 (1,300 千円)
 表彰規程に基づいて、本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績をあげた選手について、表彰選考委員会の審査により被表彰者を決定し、表彰する。
 ・期 日；令和7年2月(予定)
 ・場 所；白兔会館
 ・表彰内訳
 優良団体賞：2団体程度
 体育功労章：若干名
 優秀指導者賞：若干名
 特 別 賞：国際大会出場者等
 ス ポ ー ツ 賞：全国大会等上位入賞
 スポーツ敢闘賞：全国大会等下位入賞
 スポーツ奨励賞：全国規模大会入賞者
- 6 公認コーチ養成事業(日本スポーツ協会委託事業) 1,625 千円 (1,194 千円)
- (1) 公認コーチ養成講習会の開催 1,164 千円 (744 千円)
 ・コーチ1養成講習会(実施競技未定)

- (2) 公認コーチ育成事業 461 千円 (450 千円)
- ・スポーツ指導者研修会の開催 (年2回)
 - ・指導者育成関係事業事務費
- 7 わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 ㊦ 1,000 千円 (500 千円)
- (1) 国民スポーツ大会入賞奨励金支給事業
国スポで入賞した競技(種別)に対して、報奨金を支給する。
- (2) オリンピック出場選手激励事業
本県及び本県出身の出場選手に対し、激励金を交付する。
- (3) 強化推進費
競技力向上を推進するための経費
- 8 賛助会費事業 ㊦ 1,000 千円 (560 千円)
- (1) ジュニア期の一貫指導・育成支援事業
- ①全国大会で入賞実績のない高校の運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。
 - ②ジュニアクラブチームの育成、活性化及び大会参加等について支援を行うことにより、本県の競技力向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層を強化する。
- (2) 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業
総合型地域スポーツクラブの知名度向上のため、総合型地域スポーツクラブが連携して活動の活性化を図る事業を支援する。
- (3) 賛助会運営費
賛助会費を運用するための経費
- 9 スポーツ安全保険業務受託事業 3,965 千円 (5,062 千円)
公益財団法人スポーツ安全協会と委託契約を締結し、スポーツ安全保険業務を行う。
- 10 施設基金実施事業 ㊦ 351 千円 (351 千円)
- (1) ガイナーレ鳥取支援事業 51 千円 (51 千円)

ガイナレ鳥取への支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

(2) 備品整備事業 300 千円 (300 千円)
県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行うため、備品の整備（公用車の維持・修繕等）を行う。

1 1 スポーツスクエア整備事業 500 千円 (500 千円)
県民のスポーツへの興味、関心を高めるため、本県のスポーツ・体育の歴史を紹介する展示物を当協会が管理する施設（布勢総合運動公園他）で展示する。

1 2 （新）指導者人材バンク推進事業 600 千円 (0 千円)
子どもたちがスポーツ活動に継続して親しむことが出来るよう、スポーツ指導者に人材バンクへ登録してもらい、その情報を提供する。

1 3 体育施設管理・運営

733,135 千円 (699,723 千円)

鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

() 内は前年度の目標人数及び予算額

区分	布勢総合 運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生 市民プール	米子産業 体育館	武道館	合計
利用予定 人員	934,000人 (923,100人)	体90,592人 (80,400人) プ54,945人 (51,600人)	87,000人 (87,000人)	144,000人 (144,000人)	110,000人 (113,000人)	1,420,537人 (1,399,100人)
利用収入 等金額	56,201千円 (46,024千円)	26,689千円 (25,416千円)	23,940千円 (22,870千円)	22,830千円 (30,300千円)	10,939千円 (11,060千円)	140,599千円 (135,670千円)
※収益2 の収益	9,227千円 (6,006千円)	1,336千円 (1,336千円)	693千円 (648千円)	1,980千円 (1,980千円)	2,790千円 (2,250千円)	16,026千円 (12,220千円)
支 出	388,024千円 (365,248千円)	113,711千円 (103,330千円)	74,436千円 (77,740千円)	63,466千円 (67,922千円)	93,498千円 (85,483千円)	733,135千円 (699,723千円)
県委託料	322,596千円 (313,218千円)	85,686千円 (76,578千円)	—	38,656千円 (35,642千円)	79,769千円 (72,173千円)	526,707千円 (497,611千円)
米子市 委託料	—	—	49,803千円 (54,222千円)	—	—	49,803千円 (54,222千円)
スポーツ 文化教室	【陸上】 ・陸上 I 教室 他3教室 【体育館】 ・卓球初級教室 他19教室	【体育館】 ・卓球教室 他13教室 【プール】 ・幼児水泳教室 他14教室	【プール】 ・幼児水泳教室 他21教室 【トレーニング ホール】 ・バドミントン 初級教室 他7教室	【年間教室】 ・サッカー教室 他11教室 【短期教室】 ・バドミントン 教室他1教室	【年間教室】 ・柔道年長・小学 生教室 他28教室 【短期教室】 ・弓道クリニック ・体操、体育スポ ーツ合宿	
イベント	・いきいき健康長寿 事業9イベント ・スポーツ活性化事 業5イベント ・交流・地域活性事 業5イベント ・体験学習プログ ラム5イベント	・室内グラウンド ゴルフ大会 ・ローソンカップ 卓球大会 ・泳力検定 ・花ショウブ展示 会 他3イベント	・泳力測定会 ・水辺の安全教 室 ・ニュースポー ツ体験会 他5イベント	・新体操発表会 ・バドミントン大会 ・卓球大会	・武道・ユニバーサ ルススポーツ合同体 験会 ・小学生柔道大会 ・小学生剣道大会 ・空手道教室昇級 審査会	
備 考	県民体育館改修工事 (メインアリーナ) R5. 6月～R6. 6月					

【収益1】施設関連事業

279,001 千円 (120,754 千円)

体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

1 倉吉体育文化会館の管理運営

85,418 千円 (79,230 千円)

区 分	内 容
利用予定人員	160,000人 (200,000人)
利用収入等金額	20,342千円 (20,537千円)
支 出	85,418千円 (79,230千円)
県委託料	65,076千円 (58,693千円)
スポーツ教室	さわやか健康教室 他12教室
文化教室	フラワーアレンジメント教室 他10教室
イベント	【スポーツイベント】 ・エンジョイ体文カップ (バドミントン、テニス、卓球) 他3イベント 【文化イベント】 ・サマースタディ、体文祭 他1イベント

() 内は前年度の人数及び予算額

2 倉吉自転車競技場の管理運営

193,583 千円 (41,524 千円)

(1) 倉吉自転車競技場管理運営

9,933 千円 (9,531 千円)

職員3名を配置し管理運営を行う。

(2) 倉吉自転車競技場整備 (新水源関係)

44,143 千円 (31,993 千円)

新しい水源を確保するために、さく井工事や給水設備工事等を行う。

(3) 倉吉自転車競技場整備 (走路改修関係)

139,507 千円 (0 千円)

令和7年度に開催予定の全国高等学校総合体育大会自転車競技に向けて、走路改修を行う。

【収益2】自動販売機設置事業

1,678 千円 (1,290 千円)

当協会が管理する指定管理施設利用者の利便性の向上を図るため、当該施設に自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

単位；千円

施設名	収 入		支 出		収 益	
布勢総合運動公園	10,150	(6,606)	923	(600)	9,227	(6,006)
鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	1,484	(1,484)	148	(148)	1,336	(1,336)
皆生市民プール	770	(720)	77	(72)	693	(648)
米子産業体育館	2,200	(2,200)	220	(220)	1,980	(1,980)
武 道 館	3,100	(2,500)	310	(250)	2,790	(2,250)
合 計	17,704	(13,510)	1,678	(1,290)	16,026	(12,220)

() 内は前年度の予算額